契約変更理由書

神戸市

工　事　名	有野藤原線（岡場大橋）橋梁拡幅工事その3

設計変更後の工事概要

擁壁工（補強土壁）826m2、橋台工　2基、付帯工　1式、
構造物撤去工　1式、仮設工　1式

〈設計変更の理由〉

・現地精査の結果、既設排水の仮排水が必要となったため、仮排水工が増工となった。

・現地精査の結果、土留め施工時に隣接する道路交通への防護が必要となり、防護工が増工となった。

・土質調査の結果、他工事の発生土の補強土壁への流用が困難であったため、盛土材を購入材に変更した。

・その他、現地精査に伴い、数量に増減が生じた。

・現地調査の結果、近接する民地擁壁の根入れが想定より浅く、掘削による擁壁転倒の懸念が生じた。そのため、補強土壁工について擁壁を保護した形で施工する必要が生じ、施工方法に変更が生じる。

・前項の現地調査結果を踏まえ、施工により民地擁壁等の構造物に影響を及ぼすおそれがあるため、建物調査を行う。

・A2橋台床掘を進めたところ、掘削法面が不安定であったため、仮土留めが必要となった。そのため、仮土留め工が増工となる。